

### 公民館クラブ紹介 ⑥

## 楽しんで踊っています

### 横芝ダンスクラブ

ダンスクラブも公民館成人学校受講生によって生まれたクラブで、毎週水曜日午後8時から9時30分まで文化会館でレッスンをしています。

クラブ員は7名と小人数なので、日によつては3〜4名になることもあり、クラブ員が少ないのが悩みとなっています。

現在のレッスン方法は、指導者に教わるという形ではなく、成人学校で習ったことを基本として、テレビのダンス教室等で研究し、クラブ員が互いに教えたり、教えられたりといった形で行っています。内容も一般的な「社交ダンス」で、ブルース、タンゴ、マンボ、ワルツといった誰でもが踊れる曲目を選んでいきます。

納涼会や忘年会を行ってクラブ員の親睦も深めている一

方、年に一度、他のダンス愛好者の協力により、チャリティダンスパーティーも開いて、福祉へのボランティア活動も行っています。

一般的にダンスというときに入り込みにくい面があるようですが、曲に乗って踊ることは他の踊りと変わる

ところはなく、心身共にバランスを保ち、相応な運動量となるため、健康にも良いのではないのでしょうか。曲に乗って踊れるようになるには多少継続的な練習も必要ですがあまり型にとら



仲間になりませんか、楽しいですよ

われることなく、自分自身がダンスを楽しむということが大切なことではないかということですが。

一つでもいいからダンスを習っておきたいと思っていられる方、またダンス愛好者のみなさん、横芝ダンスクラブの仲間になっていただけませんか。クラブ長は、本町の福山さち子さん（☎0283）です。

### 文芸

#### 俳句

涼やかに聖書を語る女かな

伊藤 吹霜

新生姜土の涼味を束ね売る

宇井 芝童

通夜の帰路流れ星みて足早め

海保 きみ

夏萩の花に隠れし悲恋塚

勝又やすのり

風鈴に風がそそる夕座敷

鈴木 草庵

槇の木の高さに消えし流れ星

鈴木 南知

新生姜夕餈の膳に香りけり

津田 若菜

あの森へ針刺すごとく流れ星

山口 一秋

争いてあとのむなしさ流れ星

若梅あやめ

流星の横ぎりに黒き川の幅

(選者) 土屋 栗水



#### 短歌

農道を歩みてゆけば稲田より羽ばたき荒く白鷺の立つ

池田 春江

仰ぎ来し兄なりしかな白内障の眼帯白くベツトに座る

宇井 ちい

藍深きヤマトリカブト咲きてる

つ小きき滝の飛沫をあびて

大場 和可

遅まきの向日葵なれど炎天に拳

ほどなる花を持ちたり

掛川 友代

病み臥して掃けずにあたる庚申塚

塚たが手をかけしか清しき保つ

向後 泰治

老い私の仕事となさむ除草剤撒

かずひねもす畑に草引く

斉藤 秀男

行商の姥より買ひし鉢の木の花

咲かぬままこの夏を過ぐ

斉藤 要

水不足の利根川水系雨も無く台

風十号逸れて去りたり

斉藤 佳子

振り返り振り返りつつ帰り来る

独り居の父住みる家を

佐瀬 初音

細きゆゑよべ取り残せし胡瓜は

や朝の畑に垂りゆたかなる

(選者) 斎藤つね子